
ポプって逃走中！

りゅーと

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポプって逃走中！

【Nコード】

N4903Z

【作者名】

りゅーと

【あらすじ】

アツシユ「大人気音楽ゲーム「ポップンミュージック」で逃走中を行なうっスよ！」

ユーリ「最新作である20のファンタジアのネタばれも若干あるの
で注意だ」

MZD「誰が逃げ切るかはお前の目で見ろよな！」

ナカジ「興味があるなら、見て行ってくれ・・・（小声）」

タロー「ナカジー！もっと大きな声で！ほら、俺がナカジを馬鹿にした時やナカジのマフラーにカレーをぶちまけて切れた時並みに大

きな声で！」

ナカジ「おいおい、俺が短気のように聞こえ・・・おい、マフラーのそれはどう言う事だ？聞いてないぞ・・・？」

タロー「しまった・・・！（墓穴）」

エツダ「あ、殴り合い発生・・・」

ミニニヤミ&スマイル「それではどうぞー！！」

作者はポップンを15からやったらしい) b y M Z D () (前書き)

りゅーと」200のピュアケルリップのカラーってハトプ」
「ミ」黙らっしやい

作者はポップンを15からやったらしい(bymzd)

りゅーと「今日も「ゲームキャラもアニメキャラも全員逃げて戦って大暴れ！逃走中！」の更新が終わったわ！」

この日、りゅーとはにじファンで執筆中の「ゲームキャラもアニメキャラも全員逃げて戦って大暴れ！逃走中！」の投稿を終えた。彼女の書く小説は戦闘とギャグを混ぜた逃走中で有名で、多くの作者さんとの交流はある。

今日も投稿して終わりかと思われたその時……。

りゅーと「そーいや、ポップン20が稼働するんだよね……。今の小説もいいけど、あたしのはまっているポップンの逃走中を執筆してみたいわー。ステージの設定とミッションを考えるのってちょっと面倒くさい……。うーん……。どうしよう……。」

「……だつたら、俺様も手伝おうか！」

りゅーと「誰？」

パソコンをいじるりゅーとが振り向くとそこにいたのは帽子とサングラスを付けた少年がいた。彼は宙に浮いており、周辺に星屑を散らばせながら背後にいる影と会話をしている。彼の登場に彼女は笑顔になる。

りゅーと「MZDじゃん！20のファンタジア、お疲れですー」

MZD「どうもー。お前の小説をいつも見ているぜー。」

そこにいたのはポップンワールドの神であるMZDだった。彼は外見とは裏腹に音の世界を統治する権力者であり、音楽を愛する神様。世界中からパーティを開くために来客者を呼ぶ少年に誰もが「このような子供が神様なのか」と思うが、相手の体から発されるオーラは本物で相当な実力を持っていると察知できた。下手に動くより、大人しくするのが吉だろう……。

MZD「事情は聞いたぜ！よかつたら、俺様も協力する！」

りゅーと「本当！？ありがとう！じゃあ、招待状を出して！！」

MZD「OK！！」

この一言により、ポッパー達に招待状が届けられた……

ミニ「ニヤミちゃん、逃走中の参加案内届いた！？」

ニヤミ「私にも来たよ！いろんな人が参加するみたいだつて！」

ミニ「聞いた話だけど、20キャラやタイマーも出るって！」

ニヤミ「本当に！？ダーリンと一緒に出来るなんて嬉しいー！！」

リエ「さなえちゃん、これ知ってる？」

さなえ「知ってるわ。これは逃げるゲームでしょ？」

リエ「これで逃げ切って、新しいお洋服の費用に回しちゃおうよ！」
さなえ「うん！リエちゃんの言う通りに狙うは逃げ切りよ！」

アッシュ「ユーリもスマイルも参加しようっス！俺は出るっスよー！」

ユーリ「神の奴も暇つぶしにもほどがある……。私は遠慮す……」

スマイル「あ、ユーリは強制参加だってヨ」

ユーリ「は？」

スマイル「理由はユーリがMZDが仕事を追加した腹いせに彼の机にカマキリの卵をぎっしりを入れて大惨事にさせた事を根に持っているミタイ……；（つか、どこから集めた；」

ユーリ「よし、ちょうど新曲が出来たし、MZDの所に行くってくる。そのついでに参加表明を直々に届けに行ってくる……。人の休日を返せクソ神！！」

アッシュ「ユーリと神って仲がいいんスねー」

スマイル「アッス君、あれのどこが仲良しに見えるノ；」

六「俺らも参加だつてよ！Des・ROW組から何人か行くぞ！」

DTO「OK！俺らの威厳にかけて活躍するぞー！！」

ジャック「……うん！」

ナカジ「逃げての金を入手……。？悪いが俺はパ「チーン！」

タロー「ナカジー！俺も参加するよ！エッダも参加するんだって！

俺らは登録したし、ナカジが参加すると思つて登録したよ!」
ナカジ「ほおー・・・お前はいろいろとやるなあ・・・?」(怒)
タロー「へへっ!俺だって、やる時はやるんだから!」

次回はルール紹介!

作者はポップンを15からやったらしい) b y M Z D (後書き)

M Z D「さーて、どうしようかなー？ユーリには今までの仕返しで
も・・・」

ポンポン

M Z D「あん？」

ユーリ「M Z D、私と(拳で)語り合わないか？」
「こり」
M Z D「な、何をするー」

ベキッ！バキッ！ゴキッ！ドゴッ！チユドーン！…

ユーリ「話し合いは穏便に終わった・・・」

エリアとルールの説明！（b y ミミ）（前書き）

りゅーと「20キャラ、可愛い子が多すぎるだろ。つか、KKのレアカードと新衣装は反則すぎる。KKが好きになっちまうだろ。」
KK「どーも、俺のカードを入手や俺の曲を選んでくれると嬉しい。さらに美人の女の子だとなおさら嬉しい。」

20の欲しいカードはKKさんとアーク君です。アーク、カッコいいな。

エリアとルールの説明！（b y m m m）

「逃走中のエリア」
ポップンランド

「エリアの情報」
ポップンワールドにある大人気の遊園地。連日行列が出来る遊園地を舞台に逃走劇が行われる。また、この遊園地には有名なポップンキャラ、さらにはゲストが・・・。
遊園地には多くのアトラクション・フードコート・ショッピングモール・ゲームセンターがあり、さらに西のエリアにある汽車に乗って別のエリアに行く事が可能。

「広さ」

東京ドーム6個分とかなり大きい

「ルール」

- 1：時間は150分。1秒につき200円上昇（逃げきれば180万円獲得）
- 2：エリア内にいるハンターは4体。彼らに捕まると確保となり、賞金は0円。牢獄へ転送される。
- 3：自首も可能。遊園地にある5つの公衆電話から自首を申告すれば、その時点の賞金が獲得が可能となる。
ゲームのリタイア
- 4：逃走者全員には携帯が配られ、確保情報や自首情報、ミッションや通達はメールで送られる。逃走者同士での連絡も可能。
- 5：一部の逃走者が持っているスキルや技は特定の場合のみにしか

使えない。

6：変な事を起こしたら強制失格にするぞ！！さらには・・・

以上です。次は逃走者情報。

エリアとルールの説明！（bYミミ）（後書き）

「前回の続き」

影「カミィ、アタラシイデータヲモツテキ・・・ギャー！！」

MZDのお気に入りの部屋には尻に赤い槍を刺して犬 家のように
なっている少年の死体が・・・

影「ユーリヲオコラセタンデスネ・・・ダカラ、シゴトハジブン
デヤツタホウガイイトイツタノ二・・・」（十字を切る）

逃走者情報だよ！（b y n y a m i）（前書き）

」最近のリムーと

竜斗さんが・・・うっ・・・（涙）

逃走者情報だよ！（byニヤミ）

逃走者を紹介。りゅーと設定が多め。

「ミミ」

言わずと知れたポップンミュージックの看板兔の女の子。普段はポップンパーティの司会をしたり、イベントで冒険したり、コスプレやテーマに沿った衣装で登場する。多忙ながらも毎日を楽しく過ごしており、相方のニヤミとMZDとたくさんのおツパーとは仲良し。ニヤミの恋人の赤いウサギにアドバイスしたり、茶化したりするも、タイムーとニヤミの恋を応援している。

性格は明るく元気がモットーで常に前向きな姿勢。暴走するニヤミや神のストッパーであり、大親友を泣かせるような真似をしたタイムーに鉄槌を下すのも彼女。こっちは少し女の子らしい。

スキルはアニメやゲームキャラにコスプレする事によってその技が使える。本気出せばビームや飛行、召喚技も使える。

足の速さは普通であり、戦闘は慎重に行くタイプ。ミッションは積極的に参加。

「ニヤミ」

言わずと知れたポップンミュージックの看板猫の女の子。普段はポップンパーティの司会をしたり、イベントで冒険したり、コスプレやテーマに沿った衣装で登場する。多忙ながらも毎日を楽しく過ごしており、相方のミミとMZDとたくさんのおツパーとは仲良し。タイムーという恋人がいる。

性格は明るく元気がモットーで常に前向きな姿勢。常に暴走しがちで、よくミミに怒られる。暴走する神や癖のあるおツパーのストッ

パーであり、大親友を泣かせるような真似をしたら誰だろうと容赦しない。野性味が十分あり、デートの時は彼女がリードするらしい（笑）。

スキルはミニと同じくアニメやゲームキャラにコスプレする事によってその技が使える。本気出せばビームや飛行、召喚技が使える。足の速さは少し速めであり、戦闘はガンガン行くタイプ。ミッションは積極的に参加。

「タイマー」

ウサ耳帽子をかぶったアイドル。ニヤミの彼氏であり、ミニツツの兄。

性格は優しくて思いやりがある子で嘘を付くのが下手な正直な子。性格ゆえに大好きなニヤミの前では積極的になれずすぐに赤面になる。いざという時には頼りになるが、その時に彼女や関係者が解決したり、勝手に進めてしまったため周囲に振り回されがち（でも結果オーライになる）。その上、パワフルな彼女に先にリードされると肝心な時にいいところを見せれない。要するにヘタレ（黙れー！（涙）。誰とでも仲がいいが、思った事を口にしてしまうために知人を怒らせてしまう事もしばしばある。スキルは彼女や関係者が恐ろしい事になってるので平凡・・・；足の速さは遅めであり、戦闘はサポート。ミッションは行くのだが、彼女や妹の前でカッコいいところを見せよつとするも地獄を見る事も・・・。

「ミニツツ」

ちびっ子アイドルのタイマーの妹。歌う事と踊る事が大好きな女の子。

性格は明るくて好奇心旺盛。少女アニメや漫画が大好きだが、早く

大人になりたいとちよつと背伸びをしている。オシャレや可愛いもの、恋愛が好きなおしゃまな女の子。恋愛に対してヘタレな兄にダメ出しをしたり、アドバイスをしたり、二人の中をくつつけようとミミ同様に頑張る。自分と同世代の子とミミニヤミや神やタイマーの知り合いとは仲良し。

スキルはミミニヤミが身に付けた格闘術を覚えてガンガン攻める！説明文を見れば分かると思うがタイマーとの違いが十分に出ている・
・（笑）。

足の速さは普通で、戦闘は前に行く！ミッションは難しくもないものなら全部やる。

「ユーリ」

人気妖怪バンド「Deu^{トウユ}il」のボーカル兼リーダーの吸血鬼。表向きはそれだが、裏はメルヘン王国の魔族や妖怪、人ではないものが住む北部の統治者。真祖^{デイルイトウオーカー}吸血鬼に該当し、メンバーにアッシュとスマイルがいる。

名家出身、最強眷属、戦い上手、頭脳明晰、人望も厚いと全部がパーフェクトと言える彼だが、性格は素敵すぎる外見とは裏腹にありえないほどのサディスト。高確率で無茶振りや理不尽な理由で相手を振りまわすと危険（被害者は透明人間と神と時間）。怒らせた相手には数秒後に鉄槌や魔法、笑顔で毒舌も当たり前（鬼だ・・・）。だが、こう見えても相手を思いやる心を持ち、メンバーや女性や子供には優しくする。怖いと思われがちだが実はいい人。

メンバーのアッシュとポエットには甘い。ポップンワールドで怒らせてはいけない人の上位に入るが、マジ切れしたアッシュだけには敵わず、メンバーでも恐れる・・・。

スキルは体術と魔法を使い分ける万能型タイプ。魔力の無駄と隙を抑え、相手に反撃させないほどの連続コンボを決めると鬼。苦手属性や日光の耐性も若干持っている。吸血鬼だから空は飛べる。

足は少し速めで、戦闘では相手の特性を見抜き、臨機応変の戦いが可能なので誰と組んでも強い。ミッションはなるべく行く。

「アツシユ」

人気妖怪バンドの「Deuil」のドラマー兼体調管理担当（特に料理）の人狼。口癖は語尾に「っス」。

性格は礼儀正しく、誰にでも優しく接する素直な子。メンバーに振り回されがちだが、それでもうまくやっている。メンバー内の力関係は彼が一番下だが、マジ切れすると・・・？（噂ではMZDやユリーなどの強力な権力者を土下座させたとか）

家事の腕前はプロで、特に料理とお菓子作りの腕は偏食しがちのメンバーも納得するほどの腕前（調理師免許取得済み）。一口食べるのを忘れない。これでも普通かと思われるが、女性や子供に気に入られるほどの素質がある（無自覚&メンバー内でも一番人気）。さらに天然だったり、思った事を口に出すので、メンバーや周囲にフォロワーの言葉をかけているつもりが、逆に傷つけている事も（笑）。ある意味幸せな人であり最強の人。

スキルは持ち前のパワーとスピードで勝負！体術や伸ばした爪で攻撃するだけでなく、調理用具で殴りんだり、味方や仲間のサポートをする。

五感が優れているので獣モード（ ）になるとさらに力を発揮。両方の姿が可愛いので気に入られる。犬って言うな！

足の速さはかなり速く、戦闘では前に出て攻撃やサポート。ミッションは必ず行く。

「スマイル」

人気妖怪バンド「Deuil」のベーシストの透明人間。性格や口調はほぼ公式より。

子供っぽく無邪気で誰にでも話しかけると人懐っこい。いろいろなものに興味を持ち、楽しい事が大好きで、仲のいい人に後ろから急に抱きついたり、友人と共にどこかに連れていくと物凄いフレンドリー。常にニコニコと笑っていて、考えが読みにくい奴。だけど、中身はクールで大人な一面もあり、ちゃんと考えている（この時に口調が変わる）。性格ゆえにトラブルを起こして酷い目に遭う時も・・・。貴重なツツコミ。

上記の通りに知人が多く、大半が有名チームのリーダーやエース、芸能人や裏世界の人間や神様、上位種であるのが凄い。携帯のアドレスはぎっしり。好きなものはカレーとギャンブラーズとアッシュの料理。

スキルは上位の理属性の魔法と武器の鎌を使って戦う。さらに透明化で気配や姿を消したり、包帯を伸ばしての移動や物の回収も可能。足の速さは少し速く、戦闘では魔法と奇襲をメインに。ミッションは気分次第。

「リエVちゃん」

服飾科の学校に通う女の子。パーティの時には新しいお洋服と新しい曲を引っ提げて、大親友のさなえと共に登場！

性格は音楽とお洋服のデザインとカフェめぐりが大好きな明るい女の子。音楽は練習を怠らず、ギターだけじゃなく様々な楽器も練習中。ポップンパーティーの出場回数がさなえと同様に多く、女の子やたくさんの人とは仲が良く、おっとりなさなえを引っ張っている。女の子らしい悩みを持っており、パーティで暴れるたびに体重計を見て凹む事も（笑）。

スキルは裁縫をベースにした特殊な能力で武器は大きな鍬と布。攻撃タイプであり、サポートタイプのさなえと組むと強い。

足の速さは普通で、戦闘は前に出て裁縫魔法で戦う。ミッションは必ず行く。

「さなえちゃん」

服飾科の学校に通う女の子。パーティの時には新しいお洋服と新しい曲を引っ提げて、大親友のリエと共に登場！

性格は音楽とお洋服のデザインとカフェめぐりが大好きなおっとりとした女の子。音楽は練習を怠らず、ギターだけじゃなく様々な楽器も練習中。ポップンパーティの登場回数がりエと同様に多く、女の子やたくさんの人とは仲が良く、活発なりエに引っ張られている女の子らしい悩みを持っており、パーティに出る甘いものが大敵（笑）。

スキルは裁縫をベースにした特殊な能力で武器は大きな針と糸。サポートタイプであり、攻撃タイプのリエと組むと強い。

足の速さは遅めで、戦闘は仲間へのサポートがメイン。ミッションは必ず行く。

「ポエツト」

ポップンワールドの上界にあるホワイトランドから来た見習い天使。一人前の天使になるため、ポップンワールドで修行中。その修業の最中にパーティに数回呼ばれる。

性格は明るくて純粹無垢でいろいろな人と仲良くなれる。特に小さい動物や女の子とは仲が良く、ポップンのメイン組（ポップンで馴染みあるメンバーの事）とは大の仲良し。修行ではボランティアや人助けをしたりしているが、たまに失敗をしたりする。

スキルは飛行能力と光魔法がメイン。さらに弓矢を使つての援護や回復魔法を専門とする。

足の速さは遅く、戦闘ではサポートメイン。ミッションは必ず行く。

「六」

音楽と酒が好き旅する侍であり、Des組のリーダー。

竹を割った豪快な性格で好戦的であるが、意外にも真面目で常識を持つ。物事をちゃんと判断する。戦いやバトルは好きであるが、名のある剣士や侍がいると乱入して来る。義理人情が厚く、一度決めるとやり遂げる意志の強さがある。それ故に人からの頼み事は断れない性格と変なのに絡まれやすく、それに関するトラブルに巻き込まれる。さらに異性には弱く、ちょっとしたお色気でも鼻血を出す。スキルは剣術でストレートに勝負！小細工はいらない！

足の速さは普通で、戦闘ではバリバリ前が出る！ミッションは気分次第。

「鹿ノ子」

OEDO星からやってきた月兎の少女。彼女の祖先は月兎という強力な跳躍力を持つ部族で、ジャンプ力と蹴りの威力は高い。ポップンでびよんびよん飛んでいるのは部族故である。

性格は楽しい事が大好きで趣味のエアギターとビーマニの腕は女の子ながらにして上手。特に和風チックな音楽には強く、凜と咲く花の如くのパーフェクトは当たり前。和風キャラと15キャラの知り合いが多い。

スキルは蹴りをメインとした格闘術が得意。ジャンプ力が高く、そこからの飛び蹴りは危険。

足の速さは普通で、戦闘では前に出てキック技。ミッションは他人任せ。

「D.T.O」

ポップン学園の英語の教師であり、Des組の副リーダー。ナカジとタローとリユータの担任の教師であり、ハジメの先輩。

性格は普段はずばらで、授業中や会議中は音楽を聞くか居眠りをしていてと不真面目そうに見えるが、根は真面目で何事にも取り組む人を思いやる器を持っており、人の相談にも乗ってあげると教師の鑑とも言える。突然の事には冷静に対処したり、的確なツッコミを入れると肝が十分に据わっているが、趣味の音楽になると人がうって変わり、大フィーバーする（笑）。生徒の成績を伸ばすために一人一人の性格や特徴を判断し、抜き打ちをやっては本番のテストで応用を出す。ポップン学園のOBであり、当時は族に入ってたという噂が……；

スキルは学校の備品や族時代に培ってきたケンカ方法で勝負！周囲の物を凶器に変える。
足の速さは少し遅めで、戦闘では少し前が出る。ミッションは他人任せ。

「ハジメ」

ポップン学園の国語の教師であり、DTOの後輩。愛称はハジメちゃん。

性格は熱血でまじめで一人前の教師を目指している。生徒とはちゃんと向き合っており、ポップンパーティーや学校行事では真剣に取り組む。授業でふざけるとチョークの刑が待っています。成長と将来性はあるものの、まだまだ未熟ゆえに生徒にからかわれやすい。最近ではDes組に入ったらしく、音楽の練習にも熱を入れている。DTOや六を尊敬している。DTOと同じくポップン学園のOBであり、彼と同じく族に入っていたという噂が……；
スキルはDTOと同じく学校の備品や族時代に培ってきたケンカ方法で勝負！周囲の物を凶器に変える。
足の速さは少し速めで、戦闘ではヒットアンドアウェイ。ミッションは必ずやる。

「ナカジ」

ギラギラメガネ団リーダーの学生。タローの親友。

性格や外見がタローとは全く正反対で、タローと一緒にいると漫才のような掛け合いが起きる（笑&ポジションはツツコミ）。変なのに好まれやすく、変人や人ではないキャラに好まれて苦労しているらしい。ギターが大の趣味で、サユリという彼女がいる。

性格は無愛想なメガネ、沸点は物凄く低く、すぐに切れる（タロー談）。誰もが近づきづらい雰囲気をしているが、困っている人には多少強引な方法で助ける一面がある。彼を怒らせている元凶は友人のタローと100%言える（笑）。学校組やギラギラメガネ団、メガネキャラや同じギター仲間とは仲がいい。

勉強は大の得意で、学年1位をずっとキープ。

スキルは重力を操り、仕込み刃があるギターで攻撃。タローと組むと強い。

足の速さは少し遅く、戦闘では前に出る。ミッションは興味ないが、どこぞの友人によって行く事が多い。

「タロー」

Des組所属のサーファー。ナカジの親友。

性格や外見がナカジとは全く正反対で、ナカジと一緒にいると漫才のような掛け合いが起きる（笑&ポジションはボケ）。話をしただけであっさり友達になれる不思議なパワーを持つ。サーフィンが大の趣味で夏になると海へ行く。ナカジとサユリの恋をギラギラメガネ団と共に応援している。

性格は天真爛漫で底抜けの馬鹿&誰にでも懐く（ナカジ談）。思ったことをすぐに口に出したりするので、よくナカジを怒らせて酷い目に遭う（笑）。勉強は大の苦手で、帰国子女なのか英語は得意。学校組やギラギラメガネ団、Des組メンバーとは仲がいい（特に

教師サイド)。

スキルは水を操って攻撃。波を起こしたり、水のベールを作ったりと応用が利き、ナカジの技と合わせると強い。

足の速さは普通で、戦闘では水を使った攻撃がメイン。ミッションは必ずいく(ナカジを連れて)。

「エツダ」

ギラギラメガネ団の鹿の子。個性の強いギラギラメガネ団の中では落ち着いている子でボソボソと喋る。

性格は大人しくて、ちょっと恥ずかしがり屋。よくギラギラメンバ―やタロー、ギター仲間に助けられている。こんな性格だが、芯は強くて意見ははっきりと言える。ギターを始めたり、ギラギラメガネ団に入ったのも自分の意思である。上記の通りにギラギラメガネ団メンバーやタロー、16キャラや小さい動物とは仲がいい。

スキルは雪を操っての攻撃。本人が力を調節すれば威力を増すが、エツダはこの力を嫌っているためにサポートメインで使う。

足の速さは遅めで、戦闘ではサポート。ミッションは必ず行く。

「Mr.KK」

表は何でも屋で、裏は掃除屋(暗殺者)の顔を持ち、夜になると危険な仕事を引き受ける。

性格は静かでタバコと渋い色が似合うおっさん(まだ若い!)。だが、いざという時には頼りになる。何でも屋と称しており、無理な依頼じゃなければ手伝ったり、引き受けるがお金は相当取る(タダでやると思うなよ?)。しかし、可愛い女の子や女性の場合はタダでやったり、神や素直すぎる人が相手だと、言い返すことも出来ずに引き受けてしまう(笑)。それゆえに神に振り回されやすい。

スキルは暗殺スキルは言うまでもなく最高で、特に銃の扱いに長け

ている。

足の速さはかなり速く、戦闘では暗殺術を武器に相手の不意打ちを狙う。ミッションは気分次第。

「ジャック」

暗殺の仕事を行う異世界から来た少年。ヴィルヘルムの部下。

性格は素直で優しく小さなものや綺麗なものを好むと年頃の少年らしさがあるが、仕事になると残酷になる。ガスマスクを外すとまだ幼さが残っている。暗殺業の人物とは顔をよく合わせる。上司のヴィルヘルムやDes組、KKやヒューとは仲がいい。過去にヴいるとはある事が原因で殺されかけるも、今は和解している。

スキルは暗殺スキルと炎を用いた攻撃で勝負。状況に応じた戦い方が得意。

足の速さはかなり速く、戦闘では暗殺スキルをフルに。ミッションは状況に応じて。

「リユータ」

ポップン学園の生徒。バイトや学校生活、恋に忙しいハヤトの先輩。性格は明るくてバイトや恋に精を出す。勉強や補習が嫌い。どこにでもいる学生さんだが、彼の周囲が常に非日常すぎるため、いつの間にかツッコミススキルを身につけてしまった（大抵は知人が原因）。

あの子のいる念願のポップンパーティーに出場出来るも、そこにも個性的な人が多くいる&さらには変わり者集団が多いDes組に勧誘されると不憫な子（笑&変わり者集団じゃねえ！ by六）。パーティーに出場するためにバイトや曲作りに忙しい。最近ではパーティーでよく見るあの子に恋をしている模様。後輩のハヤトやナカジヤタロー、学校組やDes組とは仲がいい。

スキルは戦闘には縁がないので……；

足の速さは遅めで、戦闘は不参加（いろいろと危ないので）。ミッションは他人任せ。

「ハヤト」

ポップン学園の生徒。Des組の年少組に該当し、リユータの後輩。性格は真面目で礼儀正しい優しい子。勉強や運動も出来、将来や成長性のある子だが、学校の通学に興味のスケボーを使ったり、高校生と嘘をついて夜のゲームセンターに行ったり、夜更かしすると思春期ならではの悪ぶりを見せる一面もある。先輩のリユータや学校組、Des組とは仲がいい。リユータと六とD.T.Oを尊敬している。スキルは戦闘能力はないものの、お手伝いはする。武器は使用方法が分かれば戦える。

足の速さはかなり速めで、戦闘はサポート。ミッションは必ず行くが状況に応じて。

「ツースト」

ミラクル 4の2番目。エジプト出身と思うが出身地は黙っておこう。

性格は寡黙で熱くなりやすくプライドが高い。やや好戦的な部分があり、バイクやバトルには食いつく。それ故に勝負事にしょっちゅう突っ込んでリーダーのウーノに怒られる。ミラクル 4のメンバーやマジカル 4、10キャラやバイク仲間とは仲がいい。ちゃんと常識があり、ツッコミをこなす。表向きはアイドル活動をしているが、裏では暗殺業を行なっている。

スキルは剣術と暗殺術を使って戦う。二刀流も得意。

足の速さは普通で、戦闘では距離を保ちつつ戦う。ミッションは他人任せ。

「若」

ミラクル 4の3番目。日本の平安時代からやってきたミラクル4の最年少。

性格は大人しくて礼儀正しい子。最年少ゆえに可愛がられている事がちよつと不満。練習は怠らずにちゃんとやる。ミラクル 4のメンバーやマジカル 4、12キャラや和風キャラとは仲がいい。今回の逃走中はミラクル 4の代表できているため、若干は緊張している。

スキルは術と笛を使った技が多い。攻撃やサポートは両立しているので、どっちに回っても大丈夫。

足の速さは少し速く、戦闘では状況に応じて戦う。ミッションは必ずやる。

「ファイリ」

風の精霊。何百年も生きており、人前には滅多に姿を現さない。

性格は少し生意気で歌や音楽や流行には興味を持つ。常識もあり、言葉が古風。現在の時代の流れや過去の歴史を風で察知しているため、かなりの物知り。猫又キャラを筆頭に自然や妖精、精霊のキャラとは仲がいい。猫又代表として逃げ切りを狙う。

スキルは風を使つての技と飛行能力。操る風は攻撃・防御・補助と使える。

足の速さはかなり速く、戦闘では臨機応変。ミッションは状況に応じて。

「モモモ二」

芋虫の少女。魔女っ子であり、薬を飲む事によってセクシーなちようちよに変身！

性格は面白い事に興味を持ち、何かがあるといろいろと首を突っ込む。根はいい子で他人を思いやる心を持ち、薬を使って変身しトラブルを解決する。魔女っ子キャラや小さいキャラ、上野キャラとは仲良し。

スキルは薬を使って変身。その時に魔法を使って戦うだけじゃなく、飛行能力で空を飛ぶ事も可能。

足の速さは遅く、戦闘では変身して戦う。ミッションは気分次第。

「エージェント」

イギリスの諜報部員。動機はスパイ映画やゲームに憧れてスパイになった。

性格は職業とは似つかないほど明るくて社交的で考えるより行動派。趣味はガンシューティングゲームとダンスゲーム、そしてスパイ映画の鑑賞。彼の辞書には穩便に済ますという言葉は掲載されてない。しかし、スパイとしてのスキルは十分にあり、狙撃や暗号解読、偵察の腕前はプロ級。19キャラと同じ職業のポッパーとは仲がよく、何らかの経緯でアリシアと付き合っている。アリシアの保護者の存在。

スキルはスパイに必要な狙撃と偵察、格闘術を武器に戦う。さらにスパイ隠し道具の飛行マシンで空を飛ぶ。

足の速さはかなり速く、戦闘では遠距離メイン。ミッションは必ず行く。

「アリシア」

不思議な国に住む不思議な感じの女の子。ウサギリボンが似合うアリス風の女の子。

性格は可愛い外見とは裏腹に毒舌家で乱暴者（犠牲者は神やヘタレ属性の男）。怒ると頭のリボンが鞭のように動き、持っているウサ

ギのぬいぐるみの綿をかき出したり、どこぞの幼稚園児みたいに武器に使うと危険。実はこう見えてもおしゃれと恋に敏感なおしゃまなクーデレ。優しい人や同い年の女の子や同性、19キャラとは仲良し。いろいろと一緒にいるエージェントとは19のパーティーで知り合い、恋人のような関係になっている。

スキルは頭のリボンとウサギのぬいぐるみを武器に戦う（ウサギはアリシアの召使的存在であり、我儘な彼女にこき使われて凄い疲れているらしい）。

足の速さは少し遅めで、戦闘では前に出て戦う。ミッションは他人任せ。

「ミシエル」

図書館で司書をしている青年。本名はアルフォンス・ミシエル。

性格は誰にでも優しく、図書館に来た客に親切に対応し、その人にあつた本を薦める。女性や子供には優しい。普段は図書館の本を管理しており、本の内容や場所を全部把握している。貴重な書物や危険な書物も扱える。常に笑っており、神出鬼没と結構謎。オッドアイであり、正体はセラフという上位天使。ヒューやオフィリア、エッジなどのCSキャラや永い時を過ごした種族とは仲がいい。CS代表で参加。

スキルは理や光属性などの上級魔法と飛行能力。彼の力はかなり強いので少し制限されている。

足の速さは少し遅めで、戦闘では状況に応じて。ミッションは必ず行く。

「ユトー」

整備士の青年。バイクや車、細かい機械な何でもござれ。

性格は明るくて真面目で趣味や興味のあるものに対しては熱くなる。

しかし、仕事や機械弄りになると周りが見えなくなるので、その時の彼の表情は怖い。仕事場にはトビーズだけじゃなく、ジャックや10キャラ、CSキャラやバイク仲間がよく遊びに来る。差し入れをよくもらうが、甘いものが来た場合は泣きたくなる。意外にも知人が多い。

スキルは工具用具を武器にトビーズの連携でサポート。機械関係に強い。

足の速さは普通で、戦闘では無理をせず。ミッションは状況に応じて。

「アーク」

ポップン20でデビューした妖精の王子。（アークの曲が出たら更新するかも）

性格は真面目で礼儀正しく、常識がある子。ポップンならではの洗礼を食らうも、それにもめげない強い子。武器の弓を持って旅をする。水浴びが好き。20キャラやエルフキャラとは仲がいい。

スキルは弓矢と短剣と体術を用いて戦う。素早さと回避能力は高め。また、矢に魔力をこめることによって強力な一撃を放つ事が出来る。足の速さはかなり速く、戦闘では遠距離技でのクリティカルヒット。ミッションは必ず行く。

「ピュアクルヴリップ」

ポップン20でデビューした魔女っ子。名前はリップで、肩にいるお供の名前はヒップ。

ヒップと出会ってから魔女っ子になり、世界を平和にするためにラブの結晶「ラブナ」を集めている。性格は明るくて前向きポジティブだが、たまーにドジを踏む事もある。ポニーテールと八重歯がチャームポイント。20キャラや魔女っ子キャラ、同性とは仲がいい。

カラーリングが某朝方アニメのヒロインと同じなのは気のせい。
スキルはお供のヒップを武器に変えて魔法を放ったり攻撃をする。
見た目に反して攻撃力が高いので要注意。
足の速さは普通で戦闘では魔法メイン。ミッションは状況に応じて。

以上31名

逃走者情報だよ！（byニヤミ）（後書き）

いろいろとチヨイスした結果がこうなりました。20キャラやCS
キャラは出したいもん。

次回はオープニングゲーム！

オープニングゲームだ！（byユーリ）（前書き）

「小ネタ」アークの言ってた洗礼

リップ「ポップン20であたしの曲が紹介された！はじめてだったから緊張したー！」

KK「まあ、初参戦組にとっては一番最初に通るもんだからな。俺は新衣装で5シーズンぶりに登場！」

アーク「何度も出ている人は凄いですね。だけど、あの洗礼はちょっと痛かった・・・」

KK「あれって？」

リザルト画面にて・・・

アーク「よし、曲クリア！メダルは・・・ごぶっ！（ボーナス表がキャラの頭上に落ちてくる）」

リップ「あー、あれは痛かったー！ポップンパーティーって何でもありなんだね！よく勉強しなきゃ！」

KK「ファンタジアのいろいろと変わったけど、確かに頭上のあれは痛いよな・・・」

リザルト画面で誰もが思っただろう。だって、あたしもああ見えた。

オープニングゲームだ！（byユーリ）

逃走者全員の前にあったのは32本の鎖が入ったボックス。ボックスから出ている鎖の色は単色の色もあれば、ラメを使っているものもあり、二色以上の色を混ぜた鎖もある。逃走者はゲーム前にこの多くある鎖から1本引かないといけない。

しかし、そのうちの一本は異様に長く伸びており、その先には4体のハンターが入ったボックスをロックするかんぬきに繋がっている（鎖とハンターボックスの間は20m）。このハズレを引いた瞬間、かんぬきは外れ、ボックス内にいるハンターが一齐に放たれる……！

全員がこのゲームに挑戦し、ハズレを引くことなく鎖を引くのに成功したらクリアとなり、ハンター放出までの時間を3分間与えられる。

アッシュ「これって、もう一つの小説をコピ……」
ユーリ「言っな・作者が泣くぞ」

本家でも恒例のオープニングゲームの鎖引きは事前に用意されたくじ引きで決まる……。

このくじ引きでも逃走中の運を左右する……。

スマイル「僕、10番だよ！みんなは？」

ニヤミ「私は2番！早すぎる……」

タロー「29番だ！最後の方か……」

DTO「6番目か。まずまずだな！」

アーク「私は3番だ・・・」
アリシア「アリシアは11番」

オープニングゲームのスタートを切る最初の逃走者は・・・

アッシュ「俺っス！」

1番目はアッシュ・・・

リエ「アッシュー！よく考えてー！」
さなえ「気楽に引つ張った方がいいよ」
KK「じっくりと考えろ」
アッシュ「うーん・・・どーしようかなー・・・」

ボックスから伸びる色とりどりの鎖を一本一本確認し、彼はある鎖を握る。

緑の人狼が選んだのは・・・

アッシュ「自分のイメージカラーの緑でスタートするっス！」
全員（アッシュらしい選択だなー）
アッシュ「どしたんスか？今から引つ張るっスよ！準備はいい？」
D T O「来い！」
アッシュ「そーれ！」

緑色の鎖を握るアッシュは意を決して引つ張り、ボックスの方を振り向く。

クリアかハンター放出か・・・！

ジャラ！・・・シーン

アッシュ「セーフ・・・。みんな、大丈夫っスよ！」
ポエット「アッシュは運がいいんだね！神様が助けてくれたんだ！」
リュータ「だけど、心臓に悪すぎる！最初でも怖いし・・・！」
ハヤト「先輩は早い方ですけど、僕は最後だよ・・・。」
ヒュー「順番だから我慢して・・・アッシュが放出じゃないという事は・・・」

「
アツシュ「俺は先に逃げられるって事！？行ってくるっス！ユーリ、
スマイル、みんな、頑張つてー！」

そう言うとアツシュはみんなに手を振り、その場から離れてメリー
ゴーランドの方へ向かった。
なお、ハンターの放出が無かった逃走者は先に逃げる事が可能で、
離れた場所からのスタートが可能だ。だが、ゲームは続くため、残
っている逃走者はクリアかハンターが放出されるまで居続けなけれ
ばならない。
次は・・・

ニヤミ「私・・・」

2番目はニヤミ・・・

ミミ「ニヤミちゃん、絶対に引かないでねー？」

エツダ「無茶はしないで・・・」

タイマー「頼むからセーフでー!!」

ニヤミ「ちょっと！こっちも怖いんだってば！ダーリンは人頼みは

しないの!」

司会業をこなすポップンのマスコットである猫の少女は残された鎖を一通り見るとそのうちの一本を手取る。

自分と戦うニヤミが周囲の不安の声を押し退けて選んだ色は・・・

ニヤミ「董色」

モモモ「理由は？」

ニヤミ「女と猫の勘よ!」

ツースト「何じゃそりゃ!」

若「えつと・・・任せても大丈夫でしょうか・・・」

ニヤミ「さっさと行動するのみ! えーい!」

適当に董の色をした鎖を握るとニヤミは勢いよく引っ張る。放出しないのを願うのみ・・・
クリアかハンター放出か・・・!

ジャラ!・・・シーン

ニヤミの引いた鎖はセーフ。しかし・・・

ニヤミ「よし！セー・・・あああああー！！！！罅體マーク付き
だー！！！」

ミシェル「ちょっとニヤミさん！？あなたは・・・！」
リップ「という事はまさか・・・！」

ニヤミが引いた鎖の先端には罅體マークが付いていた。罅體マーク
付きの鎖を引いてしまった場合はペナルティとしてハンターボック
スを2m前進する。こうなるとハンターに捕まるリスクが一段と高
くなる・・・！

ゴゴゴゴゴゴ・・・と鳴り響く音に残された逃走者は青ざめる・・・。

ナカジ「2mつて、あんなに近づけるのかよ!？」

フィリ「凄い近くにあると恐怖が・・・」

ジャック「足が遅い人は捕まるなこりゃ・・・」

ミニ「ニヤミちゃんの馬鹿ー！何してくれるのよー！！」（怒）

ニヤミ「知るかー！！あーもー！私は先に行くねー！」

次は・・・

アーク「来たか・・・！」

3番目はアーク・・・

ピュア「アーク君、20キャラの代表だからしつかりして！」

アリシア「新入りの子は何色を選ぶのかな・・・？」

KK「20キャラのドボンになったら、俺も笑いごとにならないぞ・

・・・

ヒュー「ちなみに色はどれだ？」

20のファンタジアでデビューし、レアカードになったエルフの青年。初のお仕事に緊張する彼はデビューと同時によくない結果を残さないように鎖を選ぶ。

弓を使いこなす狩人が握った鎖は・・・

アーク「青で！」

リップ「理由は？」

アーク「自分の目とイメージカラーと同じ色だからだ」

ジャック「イメージカラーのはありがちだもんね。こっちは用意したよ！」

アーク「神よ……！力を……！」

意を決した彼は自分を信じ、鎖を引く。ジャラっとなる鎖の音が耳に響く。

クリアかハンター放出か……！

ジャラ！……シーン

アーク「セーフだ！しかも、髑髏はない！」

鹿ノ子「アークも大丈夫ね！よかった……」

六「こんな緊張感、戦闘以上に怖えし……」

ハジメ「ハンターがこっちを見てるから怖いもんな…」
アーク「先に失礼します！」

アークが先に逃げた後、ゲームはまだ続く…
その後…

4番目のポエットが白を引いてセーフ

5番目のエツダがラメ入りグレーを引いてセーフ

6番目のD.T.O.がオレンジを引いてセーフ、しかし罠罠マーク

7番目は…

タイマー「僕の番だよ！」
7番目はタイマー…

ユーリ（何だこの胸騒ぎは・・・？）
ミニッツ（お兄ちゃん、こういう時にやらかしちゃうそう）
スマイル（タイマーが引きそうな予感がする・・・；）
ミニ（ニヤミちゃん、タイマーがフラグを持ったっぽい）
タイマー「ラッキーセブンはいい数字だし、大丈夫のはず！」

幸せな数で有名な7に順番が回ってきたはミニッツの兄であり、ニヤミの彼氏であるタイマー。
自分の事を知る人物が警戒している事を知らない彼は怪しげなフラグが立つ雰囲気を選んだのは・・・

タイマー「黄色！」
エージェント「念のために聞くけど、理由は？」
タイマー「無難な色だし、大丈夫だから！」
ハジメ（逃げる準備はOK）
タイマー「行くよ！」

。
ハンターが出てもおかしくない雰囲気にはタイマーは鎖を引いた・・・
クリアかハンター放出か・・・！

ジャラ！・・・ガコーン！！！！

ナカジ「こいつ、やりやがった！」
ツースト「若、ジャック、離れた方がいいぞ！」
フィリ「みんな、逃げるぞ！」

タイマーがハズレの鎖を引いた瞬間、ハンターボックスのかんぬきが外れた！
かんぬきが外れた音が響くと、残っていた逃走者達は全員逃げ出した！ボックスから出てきたハンターが目につけたのはもちろん・・・

ビ

LOCK ON TIMER

タイマー「僕なのー!!?ちょっと待って!速いって!!」

もちろん、至近距離にいたタイマーだ。彼は大急ぎで逃げるも、ハンターから逃げるのは容易ではない。最早、逃走不可能・・・

タイマー「うわあぁー!!」 ポン

149:52 タイマー確保 残り30人

タイマー「これ、ニヤミちゃんに怒られる・・・うわー・・・、
僕最悪・・・;」

りゅーと「確保された場合はもう一つの小説同様に自動的に牢獄に
転送されまーす。タイマー、あんたは・・・;」

なお、確保された逃走者は自動的に牢獄に転送。タイマー、実の妹
と彼女より先に確保されるとは・・・。人気アイドルとして情けな
いぞ・・・。

タイマー「ここで一人ぼっちって・・・(涙)」

ピピピピピピ...

若「メールが来た！えーっと・・・」

確保情報は全ての逃走者にメールで伝えられる。

ニヤミ「『タイマー確保。残り30人』ダーリン・・・」

ジャック「始まったか・・・！」

ミニミ「さっきのあれで分かったけど、ハンター怖すぎ・・・」

リエ「すごい緊張する・・・！」

鹿ノ子「どこのエリアに逃げようかしら・・・」

ハンターから逃げた時間に応じて賞金を獲得出来る、それが・・・

舞台はポップンワールドにある大人気遊園地「ポップンランド」。
ポップンランドは連日多くの客で賑わっているレジャー施設で、多くのアトラクションがある。アトラクションだけでなく、フードコートやショッピングモール、ゲームセンターもあるのだ。13のカーニバルの舞台に使われた場所はその時の衣装を着たミニニヤミやMZDの像が飾られている。さらに西のエリアにある汽車に乗って別のエリアに行く事が可能。
ポップンランドのエリア面積は東京ドーム6つ分とあり、逃走者はこの楽しい遊園地の中を逃げ回る。

さなえ「うわあ〜！あれって、新しくオープンしたお店でしょ！後で行こうかな？」

フィリ「どこからハンターが来るのか用心せんとな・・・」

スマイル「絶対に逃げ切ってやるんだからネ！」

アッシュ「みんな大丈夫っすか不安だ・・・」

ツイスト「1秒で200円とはすげえ・・・！」

ハジメ「逃げるだけでこんなにもらえるなんて・・・自分の収入とは大違いだ・・・」

ユーリ「ここで名を残すのもいいな」

賞金は1秒ごとに200円ずつ上昇。100分間逃げ切れれば120万円を獲得出来る。

リユータ「ある程度貯まったら自首でも・・・何言ってるんだよ俺！あの子がいるだろ！」

ヒュー「自首という選択もあるかも・・・バイク代やみかん代も稼げるし」

エージェント「自首はうーん……」

更にこのゲームは自首も出来る。各エリア内にある公衆電話から自首を申告すれば、その時点の賞金を獲得しリタイアとなる。

ハンター「……」

但し、エリアには4体のハンター。捕まれば失格……賞金は0円……
……
彼らから逃げ切るのは容易ではない……

はたして、逃げ切れるのは誰か……？

オープニングゲームだ！（b y u r i）（後書き）

「確保者の言葉」 1人目：タイマー
タイマー「この遊園地はニヤミちゃんとデートで何度も来ているのに、スタート出来ないなんて……。何で僕なの……。OTL」
りゅうと「運がなかったのね……。；（これ、リユータやDTOやエージェントでも違和感がないかも」

最初の確保者の選択はちょっと迷いました。

次はポツパー達を揺るがすあの通達が……！

1つ目の通達っス！（byアツシュ）（前書き）

正月はちょっとポップンの逃走中を更新したいと思います。

横浜学園都市部さん、コメントありがとうございます。

ピュアクルリップとKKとアークのレアカードが手に入った！やったぜ！！

1つ目の通達っス！（byアツシュ）

タイマーの確保と同時に始まった逃走中。この遊園地の中で逃走劇が行われる・・・！

リップ「この遊園地って凄い人気があるんだよねー！」

遊園地内を歩くのは最新作のポップン20で登場したピュアクルリップ。魔女っ子として戦う少女はどのような逃走劇を繰り広げるのか。自分のお気に入りとの場所でのゲームにウキウキの彼女の目にあるものが飛び込んだ。それは・・・

リップ「あれって、ハートキャッチプリキュアのつぼみちゃんといえりかちゃんといつきちゃんとゆりさんじゃん！あわわわわー！！！」

そこにいたのはハートキャッチプリキュアのプリキュアである花咲つぼみと来海えりかと明堂院いつきと月影ゆりがポップンランドに遊びに来ていたのだ。別の意味で会うのは気まずいピュアはどうしようかと悩むも、相手がこちらに気付く。

つぼみ「あの人ってポップン20の魔女っ子さんですよ！たしか、ピュアクルリップさんでしたよね？」

リップ「あ、皆さんこんにちは！皆さんは遊園地に遊びに来てたの？」

えりか「あたし達、遊園地で面白いアトラクションがあると聞いてここに来たの！しかし、その格好は本当につぼみに似てるねえー？」
リップ「あはは；よく言われるの；2Pカラーも出し、カードで手に入る3Pカラーだと・・・；」

いつき「でも、とっても似合っていますよ！同じ変身少女がポップンにいると私も嬉しくなりますよ！」

リップ「ありがとう！あ、私は逃走中に出ている最中だった！」

ゆり「そうなの？この遊園地でゲームって大変ね。でも、デビュ―と同時に来たお仕事だから頑張りなさい！」

リップ「はい！皆さんも遊園地を楽しんでくださいね！！」

リップがハトプリ組に挨拶をした後、手を振ってその場から離れて移動する。

別の場所でも・・・

サムス「こんな所でお金稼ぎの人に会えるなんて奇遇ね」

KK「メトロイドのサムスがいるとは・・・」

エージェント「マジで美人だ・・・（俺にはアリシアがいるだろ！）」

KKとエージェントはメトロイドや大乱闘スマッシュブラザーズシリーズに出ている賞金稼ぎのサムス・アランに遭遇したのだ。ちなみに彼女はスマブラ屋敷の依頼でアルバイトに来ている。

KK「これは美しい……。お姉さん、よかつたら後でお茶でも
・
」
サムス「そうしたいけど、私には心に決めている人がいるのよね？
ざーんねん」
KK「ちえっ、つれないな」
エージエント「ドンマイ。ちなみに本命はプロのレーサーなの？段
ボールのあの人の？」
サムス「内緒」

さらに別の場所でも……

スバル「うわー！本物の六だー！！」
キャロ「ここで会えるなんて……」
エリオ「侍さんだ！握手して！」
ティアナ「19のレア、おめでとう！もちろん、レアカードも手に
入れたわ！」
六「おいおい、そこまで言わなくてもいいだろー？」

六はリリカルなのはSSのフォワード部隊のスバル・ナカジマ、テ
ィアナ・ランスター、キャロ・ル・ルシエ、エリオ・モンディアル
に遭遇したのだ。夢を目指す魔導師達の姿に彼は軽く笑う。握手や
撮影を求められる侍はハンターが来ないうちにささっと済ませる。

スバル「あれ？六って逃走中に出てるの？」

六「そうだ。お前らも逃走中に出てるだろ？先輩や例の帽子の子と共に」

ティアナ「（完全にヴィータさんの事だ…）そうです。六も絶対に逃げ切つてね！」

キャラ「他の皆さんもいるんですね。ちょっと会ってみたいな…」

六「別にかまわないけど、邪魔はするなよ？」

エリオ「分かりましたー！六さん、みなさんも頑張つて！」

他の所でも逃走者全員がゲストに遭遇し、会話をした。ちなみに六の言っていた逃走中は「ゲームキャラもアニメキャラも全員逃げて戦つて大暴れ！逃走中！」の事です。よかつたらこつちもどうぞ。

楽しい遊園地の中、りゅーととM.Z.Dはある事をするため、ミニノートを操っていた。

りゅーと「いい気分で悪いけど、通達を出しちやおうか？」

M.Z.D「そうだな。最初はある通達で…えいや！」

そう言つと作者と創造神は逃走者の携帯にあるメールを送つた。そ

のメールが混乱を招く事は誰も知らない……。

ピピピピピ！

フィリ「メールが来た！ミッションか！？」

スマイル「んーっと、『通達1……』」

アリシア「『これより逃走者の中からある特別な役割を担う者を募集する』ふーん……」

リエ「『それは……』」

全員「裏切り者……！」

『通達1』裏切り者募集

裏切り者とは逃走者の位置情報をハンターに教え、その通報を受けたハンターが逃走者の確保に向かう。その情報で逃走者が確保されれば、1人確保につき通常賞金に加えてボーナスが10万円プラスされる。先着1名のみ受け付ける。りゅーとに電話で立候補せよ。これは強制ではない。このメールが届いてから2分以内に立候補がなければ、裏切り者は誕生しない。

人を売ればお金を得る事が出来るメールに逃走者達は・・・

アッシュ「俺はこんなのはしたくないっす!」

ユーリ「私は人を陥れる行為自体は嫌だ」

ミニッツ「ミニッツはこんなのはやだ!」

タロー「ナカジやリユータやハヤトや先生を通報してなんかでお金なんていらない!」

ナカジ「馬鹿げている・・・」

ミシエル「裏切りは神に冒読しますからね・・・」

大半の逃走者がこのメールの内容に反対する。時間の経過と同時に裏切り者が現れない事を願う。

裏切り者の募集を受け付ける時間が30秒を切ったその時……!

「????」????です。裏切ります」

~~~~~

モニモニ「メール!?えつと……」

アリシア「『通達?。立候補の募集時間が終わった。』どうなったの……」

ミニ「『結果、裏切り者が現れた。』ええーっ!!」

ポエット「『以降は裏切り者に注意して逃走中に挑め。』怖いよ……」

裏切り者の登場に全員は疑心暗鬼に陥る……。

リエ「誰なの？裏切り者・・・」

裏切り者の恐怖に踊らされる中、リエはコーヒーカップの近くを歩いていた。ファッションデザイナーの学校に通う少女は同じ親友の無事と裏切り者が現れない事を願う。しかし、不安になる少女の姿を裏切り者が捉えた！

???「リエvちゃんがコーヒーカップ付近にいます」

ハンター「・・・」

裏切り者の通報を受けた4体のハンターは情報に基づき、リエの確保へ向かう。その事を知らない少女は周囲を見渡す。

リエ「さなえちゃんが心配だわ……。どこにいるか電話でも・・・」

「

さなえが心配になったリエは連絡を取ろうと携帯を取り出す。ボタンを押す彼女の背後に・・・

ハンター「……！」

見つかった……！

ビ

LOCK ON RIE

リエ「大丈夫か……って、ハンター！？ちよつとこっちに來ない  
でよー！！」

後ろから接近してくる黒い服の男に気付いた少女は携帯をしまい、  
大急ぎで逃げる。しかし、彼女の足ではハンターに敵わず、最早、  
逃走不可能……。

リエ「きゃああああー！」 ポン

145:51 (裏切り者の通報により)リエVちゃん確保 残り  
29人

リエ「ハンターの足、速すぎるって！さなえちゃん、スギ君、レオ君、ごめんね・・・」

親友との逃げ切りの夢は一瞬にして消えた・・・

ピュピュピュ！

さなえ「裏切り者の通報により、コーヒークップ付近でリエVちゃん確保。リエちゃんが!?」

DTO「残り29人。最低だな裏切り者！」

エツダ「裏切り者が動いた・・・！」

裏切り者が動き出した事により、逃走中の空気は変わり始めた。全員は相手の事が信じられなくなり、特にさなえが受けたショックは大きかった・・・。

そんな事を露知らず、裏切り者はボーナスを手にした事を喜ぶ。

「????」あつさりと10万円が手に入るなんて……。これはいいかも……。!」

次回、ミッション発動!

1つ目の通達っス！（byアツシュ）（後書き）

「確保者の言葉」 2人目：リエ

リエ「うう……。裏切り者のせいで最悪……。」

タイマー「リエちゃんはまだいいよ。こっちはスタートで確保だよ；

」

## 1つ目のミッションスタート！(bysマイル)(前書き)

前回の逃走中の後にポップン20で曲を解禁したら、藤森みたいなチャラ男がいた……。KONMAI、流行に便乗しすぎだろ。あと、ルートちゃんやニットちゃんの負けアニメは狙っているとは思えない。

来年の逃走中は楽しみ。しかし、次回予告のあのハンターの髪型って何……；



## 1つ目のミッションスタート！(bysマイル)

DTO「裏切り者か……。こついつのをしそつなのは……」

Des組の副リーダーである教師は携帯を取り出し、電話をかける。  
相手は……

ピピピピピ！

KK「ん？電話……。誰だ？DTOか？どした？」

DTO「お前が裏切り者だろ？」

KK「んなつ！？お前、俺を疑っているのか！こつちも聞くけど、お前が裏切り者だろ？」

DTO「俺じゃねえよ！ちなみにKKはどこにいる？」

KK「(ちらつ)フードコートだ……」

嘘だ。本当は観覧車付近にいる……。お互いが疑っているため、場所は言えない……。

KK「俺は忙しい！電話を切る！」

DTO「あ、ちよつと待……。(ブチッ)」

KK「人を疑うなよ……。ん？また電話……。？さなえか……。  
さなえ「KKさん、正直に言ってくれる？リエちゃんを通報したの  
？」

KK「いや、俺じゃない；またかよ．．．」

職業が暗殺に関係している何でも屋は二人に疑われる．．．。さらに．．．。

ヒュー「ツイスト、お前がしたたる！」

ツイスト「ヒュー、お前どうしたんだよ!!？」

ヒュー「暗殺に関係しているお前なら、裏切り者になって．．．」

ツイスト「違うっ！だったら、ヒューこそどうだ！」

ヒュー「俺はしてないぞ！」

アッシュ「ジャック君はしてないっすよね．．．?」

ジャック「アッシュ、俺を信じてないのか．．．」

アッシュ「俺はみんなを信じてるけど、どうしても拭いきれなくて

．．．」

ジャック「酷いな．．．」

同じように暗殺業を営むツイストとジャックも疑われており、大半の人が三人を裏切り者に絞る．．．。

この三人の中に裏切り者はいるのだろうか．．．?それとも．．．?

。。。。。。

ハヤト「メールです！えーつと・・・」

若「『ミッション1』ミッションが来ましたね・・・」

ユーリ「『ポップンランドに7個のハンターボックスを設置した。』  
追加系ミッションか・・・」

タロー「『残り135分になるとボックスの扉が開き、ハンターが  
放出される。』うおっ！やべえ！！」

『ミッション1』ハンター放出を阻止せよ！  
ポップンランドに7個のハンターボックスを設置した。残り135  
分になるとボックスの扉が開き、ハンターが放出される。阻止する  
にはボックスの横についているレバーを逃走者同士で二つ同時に下  
ろさないといけない。

なお、ハンターボックスがある場所はメリーゴーランド・コーヒー  
カップ・観覧車・フリーフォール・ジェットコースター・フードコ  
ート・ショッピングモールの近くにある。

ポエット「11体になると危ないよ！ポエットは行く！」

ミニッツ「これは逃げるのが難しくなるんだよね？ミニッツも行く！」

アッシュ「放出は危険っス！ユーリ、一緒に行こう！」

ユーリ「分かっている！まずは近くのジェットコースターから攻めるぞ！」

エージェント「みんなのためにも行った方がいいな！こういうミッションは大好きだ！」

ハヤト「Des組の活躍どころ！先輩や六さんや先生に認めてもらえるチャンス！」

ハジメ「大人として手本を見せないと！うっし、行きますか！」

ナカジ「こういうのに食いつく奴もいるか「ナカジー！一緒にやるぞー！」ほら来た！」

エツダ「行かなきゃ・・・！」

フィリ「近くのだけでもやっておくのが吉じゃな。道中で誰かを見つければ・・・」

ミミ「ポツパーズの意地としてやるよ！」

ニヤミ「4体でも恐ろしいのに放出は避けなきゃ！」

ミシエル「裏切り者とハンターに注意すれば大丈夫……」

六「うーん……どうしようか……」

ヒュー「ちょっと様子を見ないと……裏切り者が怖いし……」

DTO「行くのめんどくせえー……俺はパス」

リユータ「他がやると思うから俺は行かない」

鹿ノ子「アタシはこういうのはやりたくないからパスー！」

アリシア「興味がないからやらない」

ツイスト「俺は動くのは嫌だからな……」

ミッションに果敢に行く者もいれば、悩む者や様子を見て動く者もあり、さらには他者に任せざる者もいる。

しかし、ハンターの放出を阻止するには遊園地内にいる4体のハンターの目を掻い潜らないといけないうリスクがある。さらに裏切り者が紛れているため、ミッションは容易にクリアが出来ない！

はたして、間に合うのか・・・！

1つ目のミッションクリア！(b yスマイル)(後書き)

逃走者はハンターを全部放出阻止できるのか!?

## ミッション1実行中！（byタイマー）（前書き）

「小ネタ」あさきさんのキャラは・・・

20であさきさんとDormirのくりむさんの曲を担当するにんじん

アツシユ「あさきさん、曲を出す度に凄いキャラを作るんスね・・・にんじんちゃん、可愛いつス。」

ユーリ「確かに。特にイベントでは能力を持った妖怪や「何じゃこりゃ！！」と思えるものが・・・」

アツシユ「隠しや通常では人のキャラや美人の人が多いけど、14のあれや15のテレビや16の人形が一番の例。カードでもりゅーとちゃんが入手した時は「この不気味さ満載のレアカードは何!？」とびっくりしてたつス。」

ユーリ「生首が浮いている赤い川は嫌だしな・・・。ファンタジアと言ったら、幻想をテーマにしてるだろ？イベントも確実にあるし・・・」

アツシユ「うんうん。妖精や勇者や新しい衣装を着た子も・・・俺にも出番が来ますように!」

ユーリ「じゃあ、あさきさんがイベントの曲を出したら・・・?」

あさき×ファンタジア×不思議な要素!!???

ユーリ&アツシユ（あさきさんの考える幻想をイメージしたキャラ



ってどうなるんだ!!? )

あさきキャラは好きです。だけど、イベント時の変化球はどうすればいい……;

それと、20のキャラ募集のキャラが決まったっばい。

ミッション1実行中！（byタイマー）

アーク「ハヤトさん、一緒にミッションを行きませんか！」  
ハヤト「もちろん！まずは合流しましょう！」

ニヤミ「ミニちゃんはミッションやる？」

ミニ「やるよ！今ね、ショッピングモールの近くに見つけたの！」

ニヤミ「本当！？じゃあ、そっちに向かうね！」

さなえ「リップちゃん、一緒にやろう！」

リップ「もちろんだよ！少し遠いけど、メリーゴーランドに来れる？」

ミッションに参加する逃走者は電話で連絡をし、合流やハンターボックスへ向かう。しかし、そんな彼らの行く手を阻むのは4体のハンターと裏切り者。これらを掻い潜り、ミッションを成功出来るのだろうか……！

そんな中……

ユーリ「アッシュ、もう少してジェットコースターの近くだ！」

アッシュ「うん！」

ジェットコースターにあるハンターボックスに向かうのは人気妖怪バンド「Deuil」のユーリとアッシュ。この二人は通達が来る前に合流し、メールを見ていたため相手が裏切り者ではない。身の危険を顧みずに積極的に動く両者は固い絆によって結ばれている。

ユーリ「アッシュ、あれか・・・！」

アッシュ「そうみたいっすね」

大きな音を轟かすアトラクションの脇にある黒い服を着た男が入った箱を見つける。それがハンターボックス。二人は横にあるレバーを握ると勢いよく下ろした！

二人「せーの！」

ハンターボックス封印      残り6個

アッシュ「よしっ！成功！次のボックスに向か・・・」  
ユーリ「アッシュ、早とちりするな。」

ミッションに急ぐ緑の人狼の服を掴む赤き吸血鬼。急に呼び止められた事に疑問を持つメンバーにユーリはある方向に指を指す。

ハンター「……」

アッシュ「あつぶな！ユーリが止めてくれなかったら……」  
ユーリ「ミッションは前だけじゃなく周囲も見ろ。いいな？」

リーダーによって命拾いしたアッシュ。Deuiiのメンバーやリーダーがしっかりしている中、もう一人のメンバーは……

スマイル「ミッション？めんどくさいからイヤ」

売店の陰に隠れるのは同じくDeuiiのスマイル。積極的なアッシュに対し、青き透明人間はミッションに目をくれない。

スマイル「こういうのはアッス君やハジメちゃんやエツダ君がしてくれと思うからネー。」

完全に他人任せだ……

ミニッツ「あれを下ろせばいいんだよね？」

ポエット「うん！あの箱のレバーを下ろせばいいの！」

ミニッツ「だけどさ・・・」

ポエット「あのハンターが邪魔だもんねー」

逃走中で最年少のミニッツとポエットの二人。彼女達はミッションに果敢に挑み、コーヒークップの近くにあるハンターボックスを見つける。あとは下ろして封印のはずだが・・・

ハンター「・・・」

そう、ボックスの周辺にハンターがいたのだ。肝心な時に邪魔をする敵の存在に小さな天使とちびっ子アイドルはなくなって欲しいと願う。その願いが通じたのか、ハンターはボックスから離れていく・・・

ミニッツ「いなくなったよ！ポエットちゃん、急ごう！」

ポエット「うん！一緒に下ろすよ！せーの！」

ハンターボックス封印 残り5個

ミニッツ&ポエット「やったー！」

ミッションに挑んだ二人はちょっと成長したようだ・・・

さらに・・・

エージェント「これがボックスなのか・・・！」

ミッションに挑むエージェントは偶然にも観覧車付近でハンターボックスを見つけたのだ。あと一人がいれば下ろせる・・・。

エージェント「誰か来てくれー！ボックスがここにあるー！！！」

ターゲットを見つけたエージェントは協力者を求めようと大声で叫ぶ。ハンターが来てしまうかもしれないという中、誰かが向かって来た。それは・・・

KK「うるせえぞ…さっきからごちゃごちゃ言いやがって…」  
エージェント「KK!?!」

現れたのはスパイの自分の商売敵である何でも屋。頭をポリポリと  
かいて登場する男は自分の敵であり、そして…

エージェント（裏切り者の確率が高い…）

そう、裏切り者の確率が高い逃走者…！暗殺を行なう相手だからとすぐに結びついたのだろう…

エージェント「一つ聞くけど、お前は裏切り者じゃないよな？」

KK「てめえもかよ！！逆に聞くけど、裏切り者はお前じゃないのか！ほら、スパイだから……！」

エージェント「俺は断じて違う！職業で判断するな！それよりもボックスの封印を手伝ってくれ！」

KK「あ、ああ……」

職業ゆえに互いに裏切り者と睨むエージェントとKKはエージェントの目的であるボックスのレバーを下す。

ハンターボックス封印

残り4個

エージェント「あんがとな……」

KK「どーも。お礼は美人の姉ちゃんがいいけどな」

軽く会話を交わした後、二人はそれぞれ別の道へ移動した……

リユータ「あいつら、ちゃんとやってるのいるのかよ……。」



一方、お化け屋敷の近くにある自動販売機に隠れているのはリユータ。Des組に所属する彼はミッションに参加せずに他人に任せている。積極的に動く後輩やクラスメイトが見たら何と言うのだろう・・・。

リユータ「しかし、このお金は俺のバイト代を軽く超えてるよな！。何日分だ？」

腕に付いている装置の金額を見て「あと少して10万か！」と高額なお金が手に入る事に思わず顔が緩む。少し稼いでからの自首も考えるリユータはある考えが出てくる。

リユータ「ん？待てよ・・・？今はミッション1の最中だろ？もし、俺がここでミッションに貢献したら・・・」

（リユータの妄想）

ミニ「リユータ君がハンターボックスの封印したの！素敵ー！」  
リユータ「ははは、当然の事だよ」

リユータ「あの子に気に入られるチャンスじゃねえか！だったら、俺も参加するぜ！」

好きな子の好感度の上昇に気付いたリユータはハンターボックスを封印しようと動き出す。どこかに銀色の箱がないかと探す彼の行く

先に・・・

ハンター「・・・」

ハンターだ。両者は相手の存在に気付いておらず、ただ前を見て歩むのみ・・・

リユータ「ハンターボックスってどこにあんのか？近いところはうーん・・・」

地図を広げながら近くのボックスを目指す。しかし・・・

ハンター「・・・！」

見つかった・・・！

ビ

LOCKON RYUTA

リュータ「これであの子の好感度も上がって・・・って、やべえー  
！ハンターだー！！」

曲がり角の先にハンターを見つけたリュータは来た道を引き返し、  
後ろから接近してくる黒い服の男を振り切ろうと曲がり角を利用す  
る。しかし、ハンターの持久力と足の速さは学生である彼よりも遙  
かに上。徐々に距離が短くなり、最早、逃走不可能・・・。

リュータ「うぐあー！」 ポン

142:05 リュータ確保 残り28人

リュータ「あの子にいいところを見せられなかったー！ハヤトやナ  
カジヤタロー、先生に負けたくなかったのに！」

ミッションは常に危険と隣り合わせ・・・

~~~~~

DTO「お化け屋敷付近でリユータ確保。」あいつ、狙われそうだったからな……」

アリシア「残り28人。」あの人はこういうのには向いてなさそう……」

六「少なくともこれは裏切り者の通報じゃねえな……」

ジャック「Des組、しっかりしろよなー！俺だって恥ずかしいぞ！」

ハヤト「先輩、何しに来てるんですか……」

アーク「ハヤトさん、落ち込む気持ちは分かりますけど、ミッシェンに挑みましょう！」

ハヤト「はい！先輩やDes組のためにも僕がしっかりしないと……」

電話で合流したのはハヤトとアーク。これ以上の放出を避けるべく、二人はボックスを探す。全力で走るDes組の優等生と妖精の王子はハンターに見つかる覚悟で遊園地内を駆け回る。

ハヤト「ありました！」

アーク「急ぎましょう！」

・ フードコートで銀色の箱を見つけた二人。しかし、その近くには・

ハンター「……」

ハンターが二人に接近している。その事を知らないハヤトとアークはボックスのレバーに手をかける。

二人「せーの！」

ハンターボックス封印 残り3個

同時に……

ハンター「……！」

見つかった・・・！

ビ

LOCK ON HAYATO ARK

アーク「残りはいくつでしょうか？ハンターが来てます！逃げて！」
ハヤト「マジで！？ちょっと空気読んでよ！」

遠くにいるハンターを見つけたアークとハヤトは大急ぎで逃げる。
幸いにも距離があったのと気付くのが早かったため、うまく撒いた
ようだ。

ピュピュピュ...

ミシエル「メール？」封印されていないハンターボックスはあと3つ。

『多いですね・・・』

モニモニ「『封印されてないのはメリーゴーランド・フリーフォル・シヨッピングモールの3つだ。』そんなに残ってるの!？」

若「残りは5分ですよね・・・!フリーフォルの方に行かないと・・・!」

ミミ「ニヤミちゃん、早く来て!早く来て!」

残り時間が迫る中、まだ封印されていないのはメリーゴーランド・フリーフォル・シヨッピングモールの近くにある3つのハンターボックス。残り135分になる前に封印しないと3体のハンターが放たれ、計7体になってしまう・・・!

ハンター「・・・」

しかし、エリアには4体のハンターと・・・

??? (そこはまだしてないって事は誰かが来るんだ・・・)

裏切り者が行く手を阻む・・・!

ミッション1実行中！（byタイマー）（後書き）

「確保者の言葉」 3人目：リユータ

リユータ「あの子にいいところを見せようとしたら、カッコ悪い所をメールで流された・・・OTL」

タイマー「僕なんか秒が2桁も行かずにニヤミちゃんやミニッツの前で確保・・・OTL」

タイマー&リユータ「はあ・・・OTL」

リエ「牢獄がすごい重苦しいわ・・・さなえちゃん、ミニミちゃん、ニヤミちゃん、助けに来て！」

ミッション1終了したよ！(b)ミニミニ(前書き)

さなえちゃん、ミシエル、少し遅いけどお誕生日おめでとう(さなえちゃんは12月21日、ミシエルは12月25日)。これあげる。

さなえ「わっ！可愛い帽子とりんごだ！ありがとう！」

ミシエル「これは十字架のアミュレットですね。大事にします。」

さなえちゃんは18の衣装が可愛い

ミッション1終了したよ！（byミニッツ）

時間が一刻と減っていく中、シヨッピングモールにいるのはミニ。ポップンで司会を務める兔の少女の横には封印されていないハンターボックスがある。相方を待つ彼女とボックスの位置は大通りに面しており、ハンターや裏切り者の格好の獲物にもなる……。

ミニ「こんな所にいたら見つかったらうって！うわわわ……！」

ハンター放出まであと5分

ミニ「140分切っちゃったよ！お願い……！」

ニヤミ「ミニちゃん、遅れてごめんね！」

放出される時間までに焦り始める頃、電話を受けたニヤミがやって来た。遠くからやって来たパートナーの存在にミニは安堵して、崩れるようにニヤミにもたれかかった。

ミニ「ニヤミちゃん、遅いよ！私、怖かったんだからね！」

ニヤミ「よしよし……。ずっと待ってたんだね。これ以上待たな

「いふじにじいふじー」

「ミニニヤミ」セーの！」

ハンターボックス封印 残り2個

ミニニヤミ「私達ポツパーズには不可能なんてないんだからね！」

互いを信じる心が脅威を軽減した・・・

さなえ「どこかな・・・？」
リップ（さなえちゃん、こっちこっち）

メリーゴーランドのハンターボックスの封印に向かうのはさなえとピュアクルリップ。親友が確保された事が心に残るも、同じ趣味や好みを持つ少女の思いとは裏腹に皮肉にもゲームは進んでいる。裏切り者に問い詰めたい気持ちを抑え、二人の少女は走り続ける。

さなえ「どこにあるの？ボックスは・・・？」
リップ「落ちて着いて探そう！どこだー！」

馬や馬車を象った乗り物が多く回転するアトラクションの周囲を歩く。合流した地点から反対側に目的の銀の箱があった。

二人「いつせーので！」

ハンターボックス封印 残り1個

ピピピピピピ...

ツイスト「静かにしろ！見つかったらどうするんだよ！」

タロー「メール・・・？」

ミシエル「ニヤミさんからだ。」「ショッピングモールの方はしたよ！」「ありがとうございます！」

フィリ「さなえからだ。」「メリーゴーランドの方はやりました」「恩

に切る・・・！」

ショッピングモールとメリーゴーランドのハンターボックスの封印
メールが来たため、残りはフリーフォールにあるハンターボックス
のみとなった！

しかし、フリーフォールは遠い所にあり、残り時間が少ない。誰も
が諦めがちになる中・・・

ハジメ「ラストはそこか！ここで諦めるわけにはいかねんだよ！」

若「最後の一つとはいえ、その重みは大きいです！」

タロー「出来るだけやってみるよ！」

ナカジ「タローに呼ばれた以上、絶対にやらないとな・・・」

フリーフォールに向かうのはハジメ、若、タロー、ナカジの四人。
四人の位置はそれぞればらばらであり、全力で走っても間に合うか
間に合わないかと長距離である。道中にはハンターがおり、見つかる
覚悟で進まないといけない・・・！

ハンター放出まであと3分

ハジメ「運動しているとはいえ、キツイ・・・！」

若「どっちの方角でしょうか・・・？」

ハジメ「若！お前も行くのか！一緒に行かないか！」

若「私も同じですので、かまいません！」

フリーフォールに行く途中でハジメと若が合流した。ミッションの条件が道中で揃うと、ハンターに用心して目的地へ向かう！足や体力に自信のある新米教師とミラクル 4の最年少は呼吸を荒げながら、ミッションを成功させようと足を動かす。

ハンター放出まであと1分

若「あと1分しかありません！」

ハジメ「これは賭けるしかない・・・！」

ハンター放出まであと30秒

残り時間が30秒を切ったと同時に、人が高い場所から急降下するアトラクションの近くに最後のハンターボックスがあった。それを見つけると二人は全力で走り出す！

ハンター放出まであと10秒・・・

9・・・

8・・・

7・・・

ハジメ&若「間に合え

！！」

ミッションクリア

~~~~~

ポエット「結果はどうなったの！」

六「アッシュとユーリとミニッツとポエットとエージェントとMr.KKとハヤトとアークとミニミとニヤミとさなえvちゃんとピユアクルvリップとハジメと若さんの活躍により、全てのボックスは封印された。『よっしゃ！』」

ツースト「よって、ハンターは4体のままだ。『若、あんたはマジでいい奴だ・・・』」

アリシア「新入りとエージェントもよくやったわ」

タロー「あちゃー、もうやられちゃってるよー！」  
ナカジ「無駄足だったな。だけど、俺ら以外の人が向かってなかったら1体放出はあっただろう・・・」

その数秒後にタローとナカジの二人がフリーフォールにやって来た。ミッシオンをクリアされた事にちよつと悔しがるも、同じ同志がいる事に彼らは感謝をする。

ハジメ「時間ギリギリでクリアした・・・」  
若「危なかったね・・・ハジメさん、大丈夫？」  
ハジメ「平気だ・・・。ぜえ・・・ぜえ・・・」

最後のハンターボックスを封印した新米教師とミラクル 4の最年少。ミッシオンを達成した事に喜ぶ二人はその場に座り込む。そこに・・・

????「ハジメと若さんがフリーフォール付近にいます」

裏切り者が二人の近くにいた・・・。裏切り者の通報を受けたハンターが直ちに二人の確保へ向かう！

ナカジ「俺を呼ぶ時はちゃんと確認してるよな？」

タロー「あはは。でも、多い方がいいし……って、ハジメちゃんと若の方にハンターが向かっている!？」

ナカジ「んなつ!！」

解散しようとするDes組のサーファーとギラギラ眼鏡団のリーダーの目に映ったのは二人を狙う黒い服の男。二人は気付いておらず、呼吸を整えている。

タロー「二人とも逃げて!ハンターが来てる!」

ハジメ「タローとナカジじゃん。どうし……って、はああああっ!?!？」

若「こんな時にハンターが来るなんてありえませんよ!」

タローの言葉により、走り出す四人。ハンターが狙いを付けたのは・

ビ

LOCK ON HAJIME

ハジメ「こつちかよ・・・！」

運悪く狙われたのはハジメ。急いで逃げるもミッションで体力を大幅に消費しているため、最早、逃走不可能・・・。

ハジメ「ひゃぐう！」 ポン

1 3 4 : 4 5

(裏切り者の通報により) ハジメ確保 残り27人

ハジメ「こんな終わり方ってあんなのかよ！ふざけんな・・・！」

ピピピピピ！

ユトリ「裏切り者の通報により、フリーフォール付近でハジメ確保。犠牲者が・・・！」

DTO「残り27人。許さねえぞ裏切り者！ミッション終了直後に狙いやがって！」

ハヤト「ハジメさんがやられた・・・！」

若「私達、見られてたんですか・・・！？」

新たな裏切り者の犠牲者に逃走者達は驚きを隠せない。特に学校組やDes組の怒りは大きい・・・。

???「一人だけ・・・若さんは逃げた・・・！」

一方の裏切り者は一人がいなくなったので、賞金が得られない事に苛立っていた。ハジメを葬った裏切り者は現在、20万円のボーナスを手に行っている・・・。

この悪夢はいつになったら終わるのだろうか・・・？

ミッション1終了したよ！（b y ミニッ）（後書き）

「確保者の言葉」 4人目：ハジメ

ハジメ「教師やD e s組の一人としてすっげー情けない・・・；ん？メール？はあっ！？俺って裏切り者に通報されてたのか！！誰だよ！俺を狙ったのは！！」（激怒）

次回は牢獄の話を

## 牢獄とミッション2を（b y r i e）（前書き）

「小ネタ」どうやってセットしてるの？  
ポエットと一緒にプリキュアを見ているスマイル。スイートプリキュア が終わりに差しかかった時・・・

来春はスマイルプリキュアが放送開始！

ポエット「次回作のプリキュアは5人組だね！前のプリキュア5を  
思い出すね！」

スマイル「ウン！スマイルプリキュアの子達の情報もちよつとずつ  
出てるし、公式HPもオープンしたヨ！」

ポエット「本当！あとで変身アイテムや武器の情報でも見てもいい  
？」

スマイル「イイヨー！（だけどさ、新作の情報を見て思ったんだけど・・・」

スマイル（黄色の子の髪型って変わりすぎじゃん；つか、どういう  
風にセットしてるノ・・・。過去のうららちゃんも同じだったよネ；  
）

コロネやトンガリのヘアはプリキュアパワーでなせる技でしょう  
か・・・？変身前と変身後の差が凄すぎるし、ほとんどの子達が驚  
くのは無理ないですよね；

ちなみにあたしは赤い子と緑の子が大好きです。活発系とはナイス。

## 牢獄とミッション2を（b y r i e）

「牢獄 DE とーく」（牢獄の場所は遊園地ゲートのチケット売り場付近）

ハジメ「ただいまー・・・」

タイマー「お帰りー！メールを見たけど、封印したって凄いじゃん！僕もしたかったー・・・」

リュータ「俺もだ・・・。曲がり角でハンターって、ありえねーし・・・」

リエ「でもさ、裏切り者はまだいるんでしょ？誰が裏切り者だと思う？私はKKだと思うー！」

タイマー「んー・・・僕はDes組の人に悪いけど、ジャックかな・・・？」

リュータ「あいつも疑われやすいもんな。俺はツーストだと思う、あの服装や目つきからすると怪しいし」

ハジメ「みんなはKKやツーストやジャックが怪しいと思うけど、俺はヒューかな？あいつ、金欠と聞いているし・・・」

リエ「うーん・・・誰かしら・・・？」

誰が裏切り者かと推測する中、牢獄に誰かがやって来た。来たのはMZDとりゅーとだ。二人の手には食べ物があった。

りゅーと「みんなー、待っていると退屈でしょ？よかったら、紅茶とお菓子をどうぞー」

タイマー「いいの！？やったー！」



牢獄にいる四人に渡されたのは暖かい紅茶とホットスフレだった。寒い中、待たされている逃走者に考慮して用意したのだろう。

MZD「ミルクや砂糖もあるからなー」

リエ「やった！これで体が温かくなるわ！」

MZD「あと、ハジメにはこれ」

MZDが指パッチンをするとハジメの前にメロンパンが現れた。大好物が出現した事に本人は驚く。

ハジメ「これは・・・」

MZD「横浜学園都市部さんがミッションで貢献したお前に差し入れだってよ」

ハジメ「マジか・・・！応援してくれてありがとうな！」

リユータ「いいなー、差し入れ・・・」

牢獄でティータイムが行なわれる中、残った逃走者は・・・

タロー「ハジメちゃんを通報したのはお前だろー！」

ナカジ「おっさん、正直に言え」

ユーリ「ウーノやフォース、若が知ったら悲しむぞ」

若「ジャックさんは味方を切り捨てたりはしてないですよね・・・？」

アリシア「さつさと白状した方がいいわよ」

ハヤト「ミッションの間についてしてませんよね？」

KK&ツイスト&ジャック「うるせ

！！（激怒）」

暗殺業を行なうKKとツイストとジャックが他の逃走者達から疑われていた。特にどこにも所属しないKKはいろいろな場面でみんなと接する事が多く、昔からの付き合いのある人や新しく参戦した人などに怪しまれやすい・・・。

何度も鳴り響く着信音に何でも屋の暗殺者とミラクル 4の暗殺者

と異世界の暗殺者はづんざりする・・・。

KK「電話一つでここまでとばっちりが来るなんて聞いてないぞ！」

ツイスト「メンバーにも「裏切り者ですか？」と言われたぞ!？」

ジャック「身内に対しても信じられなくなるよ!あーもー!」

???「みんな、三人を裏切り者だと思っている・・・」

疑われる逃走者を横目に裏切り者はさらなる獲物を求める・・・

鹿ノ子「うーん、なーんでお金を得るだけにミッションや裏切り者が邪魔するの?」

一方、ミッション1に参加せずに花壇の脇に隠れるのは鹿ノ子。彼女はミッションと裏切り者の存在のせいでお金を得るのが甘くない事を知り、腕についている装置とにらめっこする。彼女の狙いは・・・

鹿ノ子「自首よ！自首！」

そう、自首狙いだ。

鹿ノ子「50万ぐらい稼げば、新作の着物は買えるよね！最近、20でアタシとそっくりな子が現れてやばいのよね；しかも、その子はセクシーで着物の柄も可愛いし、豪華なアーティスト付きって・  
・うああー！マジでムカつくー！（怒）」

20の参戦者に自分と似ている部分が多く、人気の座を奪われることを危惧した月と花の撫子は必要な資金を持って帰ると決意する。  
ちなみに自首は遊園地にある5つの公衆電話から自首を申告すれば、その時点の賞金が獲得が可能となる。なお、彼女のいる場所から最も近い公衆電話はショッピングモール付近だ。

鹿ノ子「さーて、早く50万近くにならないかしらー？」

モニモニ「あーあ、ミッションに参加したかったなー」

一方、水上ジェットコースターの付近に隠れるのはモニモニ。薬で魔女っ子に変身する芋虫の少女はミッションに参加できなかった事を悔やむ。

モニモニ「ミッションはしっかりとやった方がクリアしやすいもんね！ちゃんとやれば自分だけじゃなく、相手にも迷惑がかからないからね！ちゃんとしないと先輩魔法少女や後輩魔女っ子にも顔を見せられなくなるし、どっかの世界にいる赤い帽子の女の子並みに大変な事になっちゃうからね！」

逃走中の行動で人の見方が変わってしまったと理解しているモニモニは次のミッションは参加すると決意する。つか、さりげなしに逃走中で有名な問題児の事を言ってますんか？

ピピピピピ...

フィリ「ミッションか・・・？」

六「『ミッション2』今度は何だ・・・？」

スマイル」「残り110分までにポップンランドにある像の前で記念撮影をせよ。」「うわ、めんどくさいのが来た。」

『ミッション2』強制失格を免れよ！

残り110分になると強制失格になってしまう。免れるにはポップンランドの北エリアにあるMZD像か南エリアにあるミニニヤミの像の前で撮影をし、像と一緒に写った写真を転送せよ。ただし、2人以上で撮影しないとクリアにならない。

エツダ「これ、難しそう・・・ナカジとタローを呼ぼう・・・」

アリシア「一旦、像の方へ行かないと」

ジャック「誰かを見つけないと・・・」

ミッション2は特定の場所で複数の逃走者と写真撮影。このミッションに逃走者はどう動く・・・！

牢獄とミッション2を（bYリE）（後書き）

モニモニ「ミッションは絶対に多くの人を助けるね！写真は待ってあげた方が・・・」

ポンポン（肩を叩く音）

モニモニ「ん？ちょっと忙しいのに誰な・・・」  
ヴィータ（例の問題児）「（^^＃）」  
モニモニ「え・張本人がここにいるって・・・ちょっと何をす  
る！」

デデーン！

紀葉さん、ネタがかぶってしまっでごめんなさい。

ミッション2、頑張らなきゃ！（b y さなえ）（前書き）

モニモニ「ただいまー・・・」

リップ「お帰りー。どこに行つて・・・つて、どうしたのその頭の  
タンコブは!？」

モニモニ「悪魔のような魔法少女に遭遇した・・・」

前の後書きの続きっぽい



ミッション2、頑張らなきゃ！（byさなえ）

残り110分になるまでに二人以上の逃走者同士で北エリアにあるMZD像か南エリアにあるミニニヤミ像の前で撮影しないと強制失格となる！

DTO「このミッション、移動が面倒だ・・・」

移動を要するミッションに愚痴をこぼすのはDTO。ずっと隠れていたDes組の副リーダーの教師は周囲を見渡す。幸いにも北エリアのMZD像の近くにおり、少し歩けば目的地に辿り着ける。

DTO「あとちょっと。運動していない俺にとってはきつ・・・！？」

積極的な生徒や後輩、メンバーとは真逆の性格の彼は曲がり角に身を隠す。理由は・・・

ハンター「・・・」

ハンターだ。最悪な事にハンターは像の方へ歩いていく・・・

DTO「さっさと行けよ……！邪魔だろ！」

エツダ「ここで撮影するんだよね……？」

南エリアにあるミニミニヤミ像の前に来たのはエツダ。メールを見ていち早く動いたギラギラメガネ団の雪を操るギタリストは誰か来ないかと待ち続ける。

エツダ「早く来て……」

スマイル「ようやく到着了。あ！エツダ君、見つけた！」

エツダ「（ビクッ！）あ、スマイル……」

遅れてやって来たのは同じ弦楽器を趣味とする透明人間。自分とは性格が真逆の知人の登場にエツダは少し驚く。

エツダ「ビククリした……」

スマイル「ごつめーん！それよりも撮影しようヨ！ヒビッ！」

エツダ「うん……！じゃあ……えいっ！」

エツダ スマイル ミッションクリア

スマイル「エツダ君、アリガトー！」

エツダ「う、うん・・・あれ？」

スマイル「どしたノ？」

エツダ「あ、あれ・・・！」

二人の視界に入ったのは物陰に隠れているDes組の暗殺者の姿。裏切り者の候補の一人の存在にエツダとスマイルは一目散に逃げ出す。

スマイル「通報されるカモ・・・！」

エツダ「逃げなきゃ・・・」

通報される前に行動すればいいと考え、別々の道へ全力で逃げる。しかし・・・！

????「エツダ、南エリアの売店付近にいます」

見られた・・・

エツダ「お願いだから来ないで・・・」

内気な鹿の子のは通報されていない事を願うも、その願いは即座に打ち砕かれた・・・

見つかった・・・！

ビ

LOCK ON EDDA

エツダ「どこかに隠れて・・・えっ!？」

脇道から現れた黒ずくめの男の存在にエツダは驚き、大急ぎで走ります。しかし、至近距離で見つかったため、最早、逃走不可能・・・。

エツダ「・・・!？」 ポン

127:02

(裏切り者の通報により) エツダ確保 残り26人

エツダ「まさか、見られてたの……！」

ミッション終了後も安心できない……

ピピピピ……

タロー「ナカジ、メールを見て！」

ナカジ「『裏切り者の通報により、南エリアの売店付近でエツダ確保。』エツダがやられた……！」

ポエット「『残り26人。』像付近にいるの……!?!」

さなえ「これで裏切り者による通報は3人目……！」

裏切り者の存在はミッションの妨げになり、ミッションクリアの難易度を上げる。だが、裏切り者は……

????「これで30万円ゲット……。もっともっと通報してお金を手に入れてやるよ……!」

モニモニ「早く来てよー!誰かー!」

北エリアにあるMZD像の前にいるのはモニモニ。ハンターの目を掻い潜り、目的地に到着したのだ。後は誰かと写真を撮影して転送をするのみ。しかし、像は目立つ場所に設置されているため、ハンターや裏切り者に見つかる可能性が高い。  
するとそこに……

フィリ「誰かおらぬのか!」

モニモニ「来た!フィリだ!」

そこにやって来たのは猫又チームから代表で参戦した風の精霊のフィリ。目的地に到着した彼は呼吸を整えると芋虫の魔女つ子を見つめる。相手も気づき、彼女は携帯のカメラ機能を作動させた。

フィリ「はい、チーズ」

モニモニ　ファイリ　ミッションクリア

ファイリ「モニモニ、済まぬな。」

モニモニ「いいのいいの！モニモニも人助けをするよ〜！」

ファイリ「ワシはここを離れるが、お主はどうするんだ？」

モニモニ「んー、もうちょっと残るよー！移動しちゃうと誰かが困ると思うし。」

ファイリ「そうか。だったら、ここにお前がいると伝えておく。」

モニモニ「サンキュー！」

モニモニが他の逃走者のために残ると聞いたファイリは軽く会話するとその場から離れる。周囲を警戒して歩む彼の視界に・・・

ミシエル「あと少しで像の前に着きます・・・！辛抱を・・・！」

ファイリ「家庭版の奴か・・・。おーい！」

道中で出会ったのはCS版ポップンのミシエル。ミッションに向かう天使の存在に気付いたファイリは呼び止める。

ミシエル「ファイリさん、どうしたんですか？」

ファイリ「お前はミッションに向かうのか？」

ミシエル「そうですね・・・ファイリさんはもうクリアしたんですか？」

ファイリ「ああ、クリアした。今、北の像の方にモニモニが他の逃走

者のために残っておる。行った方がよいぞ。」  
ミシエル「本当ですか！？ありがとうございます！」

フィリの言葉を聞いた彼は一直線に像の方へ向かう。その言葉の通りにモニモニがあり、写真に応じてくれた。

ミシエル ミッションクリア

ミシエル「助かりました！（ヒューは大丈夫でしょうか・・・？）」

その後、ミニッツ、ユーリ、アッシュ、さなえ、ナカジ、タロー、リップが撮影をし、ミッションをクリアをした。この時点で残り時間は120分を切った。

ツイスト「しかし、こんな大人気の遊園地でゲームなんかするなよ・・・」



水上ジェットコースターの近くを歩くのはツイスト。人が多くいる場所です。逃走中が行われる事に怒りを覚える。元々人ごみを多く嫌うミラクル 4の暗殺者はうんざりする。そのせいで……

（数分前）

アルル「あの入って、ミラクル 4のツイストだよな！」

シエゾ「マジか！本物じゃねえか！他の奴もいるのか！」

ツイスト「ぶよぶよのアルルとシエゾがここにいるとは思わなかったぞ……；（デートの最中か……？）」

過去にぶよぶよのアルル・ナジャとシエゾ・ウイグイイに会ってしまったのだ。魔導師の卵と闇を愛する魔導師の厄介事に巻き込まれた彼は二人に質問責めや写真撮影にうんざりし、疑われている事と人やアトラクションが織りなす音に気が滅入ってしまう……。

ツイスト「場所を考えて選べよな・クソー！」

苛立ちながら像を目指すツイスト。だが、そこに近づくと黒い影……

ハンター「……」

ハンターだ……。周囲を見渡す彼に接近している……。

ツイスト「誰もいない大学や遊園地や街なら大歓迎だ。それだったら、俺もやる気は出るし、変なのに絡まれずに済むし、人ごみも避けられ・・・あれ？って、うおおー!!」

ハンター「・・・!!」

見つかった・・・!

ビ

LOCK ON 2ST

ツイスト「こっちに来るんじゃないー!」

走るツイスト。その先に・・・

ヒュー「像はどっちに・・・って、ツイストの奴、ハンターを連れてきてるし!?!」

遠くで二人を見たヒュー。彼は大急ぎで物陰に身を隠す。知人の追いかけてこのほとぼりが冷めるまで整備士は周囲を警戒する。

ヒュー「ハンターのせいで行きづらくなっただな・・・」

ツイスト「俺に来るなよ！あっち行けー！」

ハンターを振り切ろうとするツイスト。しかし、ハンターとの距離は徐々に縮まり、最早、逃走不可能・・・。

ツイスト「おーん！」 ポン

119：40 ツイスト確保 残り25人

ツイスト「ハンターの奴、足速いって！あれは本当に人間なのかよ  
！！」

ミラクル 4の二番手、ここで散る・・・

ピピピピピ！

アッシュ「『メリーゴーランド付近でツースト確保。』 ツースト君が確保されたっス！」

若「『残り25人』。後で謝罪しないと・・・』」

アリシア「裏切り者じゃないね」

ミミ&ニヤミ「はい、チーズ！」

ミミ ニヤミ ミッションクリア

南エリアにある自分達の像で写真撮影をするミミとニヤミ。写真を送信し終えた二人は13衣装を着た自分達の像を見る。だが・・・

「????」「二人いるなんて運がついてる！」

裏切り者が視界の二人の姿を捉えた……。裏切り者は携帯を取り出し、電話をする。

「????」「ミニミ、ニヤミ、南エリアのミニミニヤミ像の前にいます」

裏切り者の通報を受けたハンターが像にいる二人の元へ向かう！

ニヤミ「私達の像があるなんて恥ずかしいなー」

ミニミ「13の時に手品の練習をしたのが懐かしいねー」

ニヤミ「あの時はボールやナイフを投げて……。って、ハンター！」

ミニミ「本当だ！」

遠くから走ってくるハンターの存在に気付いたミニミとニヤミ。彼女達は走り出し、前方に分かれ道を見つめる。ミニミは左の道、ニヤミは右の道を選ぶ。ハンターが狙いをつけたのは……

ビ

LOCKON MIMI

「ミニ」こっちなのー!?!」

ずっと追いかけてくる黒ずくめの男に恐怖を覚えながらも走るミニ。  
だが・・・

ハンター「・・・!」

ミニ「行った先にもハンター!?!」

逃げた先に別のハンター。挟み撃ちに合い、最早、逃走不可能・・・

「ミニ」きゃあー!」 ポン

119:10

(裏切り者の通報により) ミニ確保 残り24人

「ミニ」ミッションクリア後に確保ってないでしょ!ニヤミちゃん、  
ごめんなさーい!」

ウサギの少女の叫びが空しく響く……

ぷぷぷぷぷー！

ポエット「裏切り者の通報により、南エリアのミニニヤミ像の付近でミニ確保。『ミニちゃんが捕まった!?!』」

ミニツツ「残り24人。『ミニお姉ちゃんが裏切り者に通報されたの!?!』」

ニヤミ「裏切り者ゆるせない……!私やミニちゃんを通報して……!」

ポップンミュージックのメインキャラクターがいなくなった事にざわめく逃走者。ミッションに積極的な人が確保されるのは、残された者にとっては大きな痛手。

????「一人だけ……!チツ……!」

メールの確保情報で一人しか確保されていない事に裏切り者は舌打ちをする。これで裏切り者の犠牲者は4人目……

その後、ポエット、六、鹿ノ子、KK、ジャック、ハヤト、若、エージェント、アークが撮影をし、ミッションをクリアをした。

現時点でクリアしていないのは……

アリシア「急がないとやばいわ……!」

ヒュー「裏切り者のせいで別方向に行く羽目になっちゃったじゃねえか!」

DTO「誰にも出会ってないし……!くそっ!」

クリアをしてないのはアリシアとヒューとDTOの三人。彼らは10分になる前に像の前で誰かと一緒に写真を撮らないと強制失格になる!



はたして、クリアは出来るのか・・・！

ミッション2、頑張らなきゃ！（byさなえ）（後書き）

「確保者の言葉」 5人目：エツダ 6人目：ツイスト 7人目：ミミ

エツダ「ツイスト、疑ってごめん・・・」

ツイスト「いや、別にかまわん。それよりも・・・」

ミミ「・・・（裏切り者に対して殺意を持っている）」

ツイスト「やべえ・・・あいつ、人を殺す気か！」

エツダ「裏切り者、ご愁傷さま・・・」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4903z/>

---

ポプって逃走中！

2011年12月28日02時49分発行